



明治記念館開館70周年記念出版



天皇のダイニングホール

～ 知られざる明治天皇の宮廷外交 ～

その知られざる歴史をひもときながら、
当時の宮廷外交の実態について、「建築」「テーブルアート」「人物」という
3つのテーマから読みといていく。



現在、明治神宮の結婚式場として知られる明治記念館の本館は、
明治天皇と昭憲皇太后が外国からの賓客をもてなすため、
宮中晩餐会で使用した赤坂仮皇居 御会食所の遺構である。

山崎鯛介

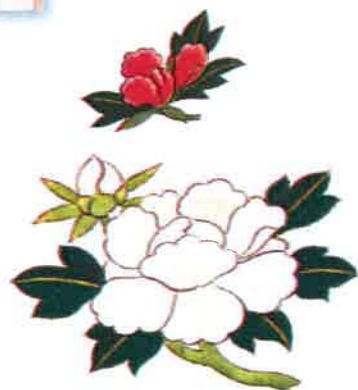
(東京工業大学環境・社会理工学院准教授)

メアリー・レッドファーン

(デズター・ビーティー・ライブラリー学会員)

今泉宜子

(明治神宮国際神道文化研究所主任研究員)



2017年10月刊行／定価：本体2,500円(税別)／A5判・カラー口絵16頁＋268頁

思文閣出版

天皇のダイニングホール



◆明治記念館
本館玄関の車寄せ
「御会食所」は明治天皇
が明治6年からおよそ16
年間住んだ赤坂仮皇居の
会食所として明治14年
に建設された

◆明治記念館本館
「金鶏の間」
明治天皇の饗宴の舞台。い
まは結婚披露宴等で利用さ
れている



明治記念館本館の価値を知る！

唯一残る明治天皇のために設計された宮殿建築を、
その成り立ちから徹底解剖

若き明治天皇・昭憲皇太后による 宮廷外交近代化の挑戦を知る！

洋装化や饗宴のメニューの変化、
それを支えた人びとの視点から、
宮廷外交の歩みをあとづける

天皇のダイニングホールを 彩った調度品を知る！

国賓をもてなす
洋食器はどのように
整えられていったのか。
日英の史料からときあかす



目次

序 章 明治天皇の御会食にみられる 三つの機会とその内容

——山崎 鯛介

第1章 交流の建築

～御会食所のデザインにみる「復古」と
「近代」の二面性～

——山崎 鯛介

既存建物のリノベーションとその空間

御会食所の設計意図

明治十九年に行われた床仕上げの大改修

第2章 食卓の外交

～明治天皇の洋食器と意匠をめぐる戦略～

——メアリー・レッドファーン（林美和子 訳）

食卓の用意

御会食所の初日

御用食器の新古模様

第3章 饗宴の舞台裏

～人物で読む明治宮殿誕生前夜の
宮中外交～

——今泉 宜子

ドレスと勲章 ～皇后のディプロマシー～

条約改正への道 ～シーボルト兄弟が見た明治外交～

明治天皇の料理番 ～大膳寮を支えた人々～

《付録》

赤坂仮皇居御会食所の利用年表
人物索引

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町 355 tel.075-533-6860 fax.075-531-0009
https://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行：思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊 数	冊	天皇のダイニングホール 本体 2,500 円 (税別) ISBN978-4-7842-1903-2			
お 名 前			tel.		
			e-mail.		
ご 住 所	〒			本書 HP の QR コード	
送本方法	代引 (書籍代 + 消費税 + 送料 600 円を現品と引き替えにお支払い、代引手数料は弊社負担) 最寄りの書店・ネット書店でもお買い求め、お取り寄せできます				

